



ののほなカフェ紹介 P6



アパートヘイト・フリー・ゾーン
P2



- 🍷 アパートヘイト・フリー・ゾーン (AFZ)
- 🍷 お笑い福祉士 IN 枚方を開催します
- 🍷 原発賠償関西訴訟第56回期日の報告
- 🍷 原発賠償ひょうご訴訟第2ラウンド
- 🍷 今月の五行歌
- 🍷 心もからだもほっこり、ののほなカフェ
- 🍷 エッセイ 新調したフラメンコのスカート
- 🍷 イベント紹介／会計報告／編集後記

「LIP編集局」

<https://love-dugong.net/lip/>

連絡先

メールアドレス: lip@love-dugong.net

TEL: 070-5653-6913 (18時以降)



雲に隠れた空見上げ、 アンパンマンを探してる パレスチナに飛んでいけ！

2025年9月16日イスラエル軍のガザ地区への地上侵攻がはじまり悲惨な状況が強まっている。

2023年10月7日以降始まったイスラエルによるパレスチナ自治区ガザ地区に対する大規模侵襲・攻撃によって、ガザでの死者は6万5千人を超えた(2025年9月19日現在)。数千人が廃墟と化したガザの市街地の瓦礫の下敷きになっているとも報道され、実際の犠牲者数は現在の発表を大きく上回るという。

命を奪うな 飢えさせないで！

ガザ地区では、2025年3月2日以降のイスラエルによる検問所を通じた物資搬入の禁止・制限によって、多くの民間人に飢餓が発生し、食料安全保障の世界標準である総合的食料安全保障レベル分類に基づく報告によれば、2025年9月末までにガザ地区の人口の22%にあたる47万人には、飢餓の最も深刻なフェーズである「飢饉」(IPC フェーズ1~5段階のうち5)の危機が迫っており、ガザ地区の全ての住民が急性食料不安(IPC フェーズ3)に陥ると予測されている。また、2025年5月に活動を開始した、アメリカとイスラエルが主導するガザ人道財団がガザ地区に設置する3~5箇所 の配給所に多数の民間人が殺到するなか、イスラエル軍による銃撃等によって875人が命を落としている。

このようなパレスチナ自治区全土における極めて非人道的な事態が常態化する中、イスラエルのネタニヤフ首相は、ガザ住民を域外に退去させる考えを示し、攻撃を強めガザ地区を直接占領する動きを強行している。

「アパルトヘイト・フリー・ゾーン」キャンペーン

世界中で、「イスラエルに加担しません」と個人、団体、店舗などでステッカーやポスターを貼り意思表示する取り組みがはじまっています。

この取り組みを広く紹介したくて、この文を書きました。ぜひ、読んでみてください。

文) 市民の広場「ひこばえ」 大田幸世

イスラエル国内でも、政府に対し人質の解放と戦闘の終結を実現するよう求め、最大の都市テルアビブで35万人以上が参加する大規模なデモが行われました。



アパルトヘイト・フリー・ゾーン (AFZ) は、イスラエルによる占領やアパルトヘイト政策に加担しない空間を世界中に作るためのキャンペーンです。南アフリカの反アパルトヘイト運動に着想を得ています。

AFZに参加したスペースは、パレスチナ人への占領による人権侵害やアパルトヘイトに加担しないことを宣言し、あらゆる差別や抑圧のない空間を目指します。



声をかけてください。

枚方市大垣内 2-8-27 シンエービル別館 A

市民の広場「ひこばえ」

072-846-8780 090-7350-0883(大田)

hirakatasiminnokai@yahoo.co.jp

みんなが笑顔を取り戻すきっかけに お笑い福祉士 IN 枚方を開催します

当事者会「あんしん館」の活動

あんしん館は、枚方で活動をしている、(精神疾患の方向けの) 当事者会です。

私自身、10年前に、統合失調症を患い、何度も、入退院を繰り返し、20代半ばで、「進むべき道を見失った」と思っていました。そんな中、職員さんから、語り部(ピアサポーター)というものを教えてもらいました。「この苦しい経験を乗り越えたら、これから出会う、同じく苦しんでいる人のために、希望の光になれるんだよ」と、教わり、そこから、もう一度、人生をやり直そうと、情報発信の練習をして、自分の壁に向き合い、気が付けば、たくさんの人に支えられ、元気になり、あんしん館を立ち上げました。

あんしん館では、当事者だけでなく、家族の方、支援者の方、一般の方、当事者会の枠を超えた形で、月一回、活動しています。手作りのお菓子と、挽きたての珈琲を囲みながら、悩み事から、楽しい雑談まで、いつもあつという間に、時間が過ぎてしまいます。

お笑い福祉士を知ってほしい

お笑い福祉士とは、落語家・笑福亭學光師匠が、



お笑い福祉士として舞台をつとめる湊川カルボ

2004年に作った資格です。徳島・大阪・姫路に教室があり、生徒と共に、地域、老人ホームなどを訪問して、笑いを届けるボランティアです。

私が、お笑い福祉士を知ったのは、3年前です。私自身、精神疾患を回復するまで、笑うことができませんでした。同じく、入院している方も、笑うことができない方ばかりでした。元気になった自分は、少しでも、皆の、笑顔を取り戻すきっかけづくりとして、今回、師匠や仲間にも協力してもらい、枚方で、イベントを行います。

まず、お笑い福祉士の活動を枚方で、知ってもらうことが今回の目的です。また、今回、枚

方市内等で活動している、SPRING ひらかた珈琲倶楽部さんの協力のもと、ペーパードリップ珈琲をお出しします。同じく、枚方市内等で活動しているAINEWORKSさん(震災支援活動)の協力のもと、マサピヨオンラインプロジェクト絵馬キーホルダーを来場者の方に、お配りします。能登半島地震の支援活動に協力させていただきます。

多くの方の協力のもと、今回のイベントをさせていただきます。たくさん笑って、美味しい珈琲を飲みながら、枚方を盛り上げるイベントになったらいいと思います。

あんしん館 湊川カルボ



「あんしん館」の活動風景

- ◇日時◇ 11月16日(日) 14時開場 14時半開演
- ◇場所◇ 岡本町会館(枚方市岡本町10-9)
アクセス・枚方市駅より徒歩5分
- ◇参加費◇ 800円(珈琲代込み) 定員30名

◇参加申し込み◇

申し込みフォーム(二次元コードから)



または E-mail karubo3203@gmail.com へ

～「人の命」と「健康」と「ふつうの人間らしい暮らし」を求める裁判～

原発賠償関西訴訟第56回期日の報告

9月11日(木)大阪地方裁判所で原発賠償関西訴訟第56回期日が開かれました。この裁判は、2011年3月の東京電力福島第一原子力発電所事故で関西に避難してきた人たちが国と東京電力(以下、東電)に対して起こしたものです。

2023年5月に第1回の原告本人尋問が行われ、約2年4カ月にわたって続けられた本人尋問も、18回目に当たるこの日で終了。午後1時30分開廷前には多くのひとが傍聴にかけつけ、傍聴席は久々の満席となりました。チラシや傍聴記の載った『LIP』の折り込み作業をしていた私たちが開廷直前に大法廷に着くと、大法廷の入口閉まったドアの前で17人のひとが並んでいました。そのなかには名札を下げた新聞記者も2人。「たくさんのひとが来てくれたのは嬉しいことですね」「我々はちょっと残念ですが」と話しながら、報告集会の行われる弁護士会館へ。そこで福島原発被害東京訴訟団長・鴨下さんを追ったビデオを視聴、その後交流会が行われました。

私たちが聞くことができなかった法廷でのやり取りについては、Facebookに投稿されていた高橋秀典さんの文章を、許可を得て以下に転載させていただきます。「福島市に住んでいた原告は、家が全壊したために避難。そこに200人も南相馬市の避難者が避難してきてその人たちにはマスクが配布され、結局福島市も線量高く南相馬市の避難者は全員が新潟県に避難したが、福島市民にはマスクすら配布されなかった。娘が通う小学校で線量を測ったら、側溝が毎時80マイクロシーベルト、樹木は150マイクロシーベルト。この数値を後で弁護士が年間換算で国の避難勧告基準をゆうに超えているのに福島市は安全キャンペーンをはったと指摘した。私も2011年12月に福島市を訪問したが、駅前線量を測ると1マイクロシーベルトだった。神戸のおよそ50倍。子どもの安全を第一に考えて原告は飲食店の店もたんで2012年年1月に宝塚に避難した。裁判官が原告に、ゼスチャーは記録に残らないので口で説明を、と優しく依頼するのも印象的だった。報告集会では全国の原告たちが熱いアピール。(原告団代表の)森松さんの締めあいさつも心に残った。『私にとっての裏テーマは、言論の自由をまもるたかいです。言いたいことを言えば返り血を浴びるが、だからこそ黙らない』(2025年9月11日高橋秀典さんのFacebookより)

娘が体調を崩したために避難を決意したと語る原告女性は、期日後の報告集会で「言いたいことは全部言え



ました」と話し、会場からは大きな拍手が。続いて、同じく原発賠償国賠訴訟を闘う京都訴訟やひょうご訴訟、千葉訴訟の原告やサポーター、弁護士から、共感と励ましのメッセージ。毎回応援に駆けつけてくれる水俣訴訟の原告からは、「日本では被害者であっても矢面に立たないと権利をまもれない」「原発は人の手でなくすと決めたらなくしていける」と応援のメッセージ。さらに進行協議を終えた白倉弁護士からは、「言葉の違い」について考えさせられるような報告を受けました。福島での原告の職業は「スナック経営」とされていますが、東北でいう「スナック」は食事と酒を提供する飲食店で、関西や首都圏等という「スナック」とは全然違うのだそうです。被告が裁判所に提出した証拠書類に新聞記事があり、そこに原告が「小料理屋」を始めたと書いてあった、それを見ると「福島でやっていたのと違う形態の店を始めた」という風に理解されるが、実は原告は福島でやっていたことをこちらでもやろうとしてうまくいかなかった、そこに誤解があれば被害認定も違ってくる、そのために注意喚起を行ったのだということ。「そもそもスナックとは？」と裁判所で言う～?と皆大笑いしたのですが、実はとても深い意味があったのでした。

次回は12月24日(水)午後1時半から、大阪地裁大法廷で結審です。開廷の40分ほど前に傍聴券の抽選が行われます。また結審の前に、11月3日(月・祝)13時45分から、エル・大阪本館606号室にて「関西訴訟結審前・九州訴訟判決前合同集会」を開催、大阪と九州二つの会場を結んで、オンライン併用の集会が開かれる予定です。

(文/高橋秀典、豊高明枝・写真/関西サポーターズ)

原発賠償ひょうご訴訟第2ラウンド記念講演

「さあ控訴審だよ！ スタートダッシュ集会」に行ってきました

9月6日(土)神戸市中央区の神戸市立婦人会館にて、原発賠償ひょうご訴訟第2ラウンド記念講演「さあ控訴審だよ！ スタートダッシュ集会」が開催されました。

LIP2024年4月号でお伝えしたように、原発事故で福島、宮城両県から兵庫県に避難した原告30世帯78人の住民が国と東電に賠償を求め神戸地裁で争っていた原発賠償ひょうご訴訟は、2024年3月21日東電の賠償責任の幾ばくかを認め国に対する賠償責任を認めないという判決が出ました。それに対して、同年4月2日15世帯39人が大阪高等裁判所(以下、大阪高裁)に控訴、来月20日大阪高裁にて控訴審第1回期日が行われます。

この日の集会では、地裁判決後の動きと控訴理由書についての解説、そして控訴審で新たに主張していく議論についての説明を、弁護団事務局長・辰巳裕規弁護士から聞いた後、『ルポ司法崩壊』を著したジャーナリストの後藤秀典さんから、記念講演「国賠訴訟で市民は勝てるのか？」を聞きました。

最高裁判所の全ての小法廷には原発訴訟と関わりの深い5大法律事務所出身の弁護士が配置され、全員が企業法務専門の弁護士です。国策に忠実に従い、政府に忖度する「法の番人」最高裁のもと(『ルポ司法崩壊』の案内文より)、国策裁判では市民が勝てないのか？ 6月27日いのちのとりで裁判最高裁判決で、国による生活保護費切り下げの違法が認められた例を取り上げ、世論を変えていくことがとても大切だということ、そして、どこの裁判所から判決を受けるかということも重要だと学びました。いのちのとりで裁判では、全国31訴訟で、地裁ごとに判決が分かれるも原告敗訴が続くなか、水俣裁判で国に勝つ技を知っている熊本地裁とエリート裁判官の集まる東京地裁で原告が連続勝訴、その後地裁では原告勝訴のラッシュ、最高裁判決前には地裁判決原告20勝11敗、高裁原告7勝5敗、しかも最高裁のおひぎ元関東で原告全勝、という結果を受けての最高裁判決であったということ。「忖度判決が出せない状況をつくらなければならない」との言葉を65名の集会参加者はかみしめました。

続いて、控訴審に向けて原告4人が決意表明。最後にマイクを握ったのは、お母さんと20代半ばの娘さんです。「故郷に残った高齢の母を思うと今も葛藤がある、でも、娘の健康にはかえられない、そして、私たちが声をあげなければ、なかったことになってしまう」と涙をこらえてお母さんが語ると、それを受けて、「母に感謝。避難してくれたおかげで健康です。これからは私が！」



「これからは大阪高裁です。大阪までぜひ応援に！」
と呼びかける、ほかほかサポートチームの皆さん

と語る娘さんの明るい声に、会場全体が勇気づけられました。

原発賠償ひょうご訴訟控訴審第1回期日は、10月20日(月)14時30分大阪高等裁判所(大阪地裁と同じ建物)大法廷で行われます。12時30分から、裁判所正門前の西天満若松浜公園で事前集会開催予定です。

(文・豊高明枝 写真・ほかほかサポートチーム)

京都訴訟は、いよいよ最高裁へ

昨年12月大阪高裁で控訴審の判決がおりた京都訴訟は最高裁に上告を申し立て、8月半ば最高裁第一小法廷に係属することに決まりました。かながわ訴訟やだまっちゃんおれん訴訟と同じ小法廷です。「2022年6月17日の最高裁(菅野裁判長)不当判決以降、全国の高裁・地裁ではすべて『国の責任』が否定されています。昨年12月18日の京都訴訟の控訴審(大阪高裁・牧裁判長)判決においても、国の責任は否定されました。(略)京都訴訟団は、『6・17最高裁不当判決は、最高裁自身の手で改めさせる』ために、最高裁闘争を全力で闘います」と京都訴訟団はメッセージを送っています。

(文・豊高明枝)

LIPが選ぶ

今月の五行歌

いつの間にか

まゆみ

見知らぬ国の

住人になつていような

変な

気分だ

病院での検査

浮游

核磁気共鳴でと

核はあかん名前でビビる

ホツなあくんだ

MRでした

リフォーム後のトイレ

ちえこ

自動で蓋が開閉し

自動で水と洗剤が出る

これでええんか

人間甘やかせずぎはどうなん

五行歌(ごぎょうか)とは……五行で書く短い詩。字数や季語などの制限はなく、自分のおもったこと、感じたことを、そのまま言葉にして書きます。枚方では、五行歌ひらかた歌会が、8月を除き月一度歌会を行っています。

(連絡先: akie.toyotaka@gmail.com)

または 090-5893-5635・豊高)

心もからだもほっこり、ののはなカフェ

ののはなカフェは、JR長尾駅から歩いて8分、バス停長尾口の前にあります。地域活動支援センター「ののはな」に併設のカフェで、人にとって大切な営みである食の一角を一緒に楽しく過ごすことができればという願いのもとにつくられたとのこと。週4日の営業で、野菜中心の健康的な食事メニューと家庭的な雰囲気が人気です。

イチオシは、ご飯とみそ汁にメイン料理、小鉢2つのついた、日替わりランチ(860円)。彩りよく盛り付けられた椀や小鉢には普段なかなかとりにくい煮野菜もたくさん入っていて、ボリュームもたっぷり。カレーやパスタ(共に700円)、トースト(350円)、ドリンクやスイーツセットなどもあります。壁面はギャラリースペースになっていて、私が行ったときには障害のある方の個展が開催されていました。

ランチを食べてのんびり、そのままずっと座っていたくなるような、ほっとできる空間です。手話や英会話のワンコイン講座も、各々月一度開催されているそう。今度はおやつタイムに行ってスイーツを頼んでみたいと思います。

(文・写真 豊高明枝)



★ ののはなカフェ ★

◇ 枚方市長尾元町5丁目10-6 村田ビル1階

電話 072-845-6883

◇ 営業時間 水～金 10:00～17:30

(ラストオーダーは17:00)

土 10:00～14:00

(ラストオーダーは13:30)

<https://www.nonohana2020.com/>

新調したフラメンコのスカート

きょうこ

淀屋橋にある、大橋由美フラメンコ教室に通い始めて、5月29日(木)でまる2年を迎えた。毎週木曜日、月4回、一日も休むことなく通えたことは、我ながらアツパレ! つい皆に自慢したくなる。

その日のレッスン後に、仲間4人(私、相棒の竹下さん、裕子ちゃん、由香ちゃん)で、梅田、中崎町にある「フラメンコ衣装専門店ラパルマ」に行った。相棒の竹下さんの靴探しが主な目的で、仲間の由香ちゃんが予約してくれた。

近くの韓国料理屋でランチを食べてから、ビルの3階にある「ラパルマ」へ。ドアを開けると、フラメンコ靴やスカート、衣装、小物たちが華やかに迎えてくれた。フラメンコの専門店に来たのは今回が初めてだ。

お目当ての靴棚の前で、店員さんに靴のサイズを聞かれ「23センチ」と竹下さんより先に答えている私が出た。

最初に出してくれた靴が、それこそシンデレラの靴のように、私の足にピッタリ。すごく履きやすいし、花柄模様のデザインがおしゃれで素敵だ。「サイズもちょうどいいし、すごく似合っている」と皆に言われ、私もついその気になりかけた。けれど、「待てよ、今の靴、まだ3年しか履いてないし、お値段も高いし」と思いとどまった。竹下さんもうろろ履いてみたけれど、合うサイズがなくて、断念した。

わざわざ予約までしてきたのに、何も買わずに出るのは気が引ける。皆それぞれスカートや衣装を見て回った。最初に竹下さんが、グレー地に黒の水玉模様のスカートを試着し、

「見てみて。これいいと思わない?」

「あら、ええやん、よく似合ってるわ」

「そうやろ? 私これ買うわ。裕子ちゃん、ピンクの水玉着てみたら?」

と言われ、同じデザインのピンクのスカートをはいてみた裕子ちゃんだが、

「ピンクはやっぱピンとこないわ」と言って、竹下さんと同じグレー地のスカートを買うことに決めた。

「相川さん、ピンク似合いそうやん、着てみたら」と今度は私に勧める。

「えー、そうお? じゃあ。着てみようかな」

「あつ、やっぱりピンクは相川さんやね。今もえんじ色のスカートをはいっているから、違和感なしやわ」ということで、由香ちゃん以外の二人が、おそろいのスカートを買うことになった。お店の人も嬉しそうだった。

「来週のレッスンから一緒に着ようね!」先生、びっくりするやろね」

「でもなんだか、やる気が出てきたわ」などと言いながら、お店を出た。

先週のレッスン後、先生から突然、「来年の2月、2年ぶりに発表会をします!」と宣言されたばかりだった。2年前の4月に、この教室の発表会を観て、あまりのレベルの高さにショックを受けた。なので、この教室に入会するとき、レッスンについていけるか心配だった。が、何とか2年

間、先生にさじを投げられずに(投げたいときもあったかも)続けてこられた。

発表会に出られることは嬉しいことだが、今のままではだめだ。毎回注意されることに、もっと真剣に取り組まなくてはと思う。先生からは、「頭で理解して、そうしようと思わない限り、身体は動かないし、いつまでも同じ。だから、まず理解して、わからないことは聞いて!」「思うように身体を動かせると、フラメンコがもつと楽しくなるから」と熱血指導を受けている。「でも、最初のころと比べるとずいぶん良くなってきたよ」と付け加えてもくれる。

この教室に入ってから2年目の記念すべき日に、気の合う仲間とフラメンコ衣装を見て、おそろいのスカートを買うことができた。嬉しい。心機一転、新調したスカートをはいってレッスンに励もう。

2025年6月9日

エッセイサークル「叢(くさむら)」の、筆名「きょうこ」さんの作品です。

「叢」は、ステーションヒル枚方五階の生涯学習交流センター・集会所にて、毎月第四水曜日に例会が開かれています。

年刊の作品集「叢」は枚方市立中央図書館に所蔵されています。

イベント・サークル・ボランティア情報

= 「みんなといっしょに高校へ行きたい」 =
第146回 拡大定例会のご案内

- ◇とき：2025年10月26日(日)午後1時45分～5時
- ◇ところ：枚方市総合文化芸術センター 別館
(旧メセナひらかた会館) 2階 多目的室
京阪枚方市駅下車徒歩7分
ラポールひらかたを左に見ながら天の川に
向かって直進 072-843-5551 駐車場有 (問合せを)
- ◇内容：① 高校受験をめぐる
② 高校入学後の現状を交流しながら、問題や課題について話し合う。
私たちが期待する高校教育の姿を考えたい。
③ その他、自由に交流します。
- ◇連絡先：ZOOM参加の方は松森 (matumori@crux.ocn.ne.jp)に申し込みを (無料です)
関山：090-2599-6162 松森：090-1960-3469
- 主催：知的障害者を普通高校へ北河内連絡会

【参加者募集】 放課後クラブ「チャレンジ・キッズ」 情報交換・交流会

- 子どものこと、学校のこと、高校進学、勉強や、家庭での時間の過ごし方について、気になることはないですか？
保護者どうし、時には支援者を交えて、おしゃべり情報交換しましょう。
- ◇日時：11月6日(木) 10時30分～14時30分 (出入り自由)
 - ◇場所：ラポールひらかた
10時30分～12時30分 3階 研修室2
13時～14時30分 4階 研修室4
 - ◇参加費：初めての方は、年会費として500円
 - ◇お問い合わせ
090-5893-5635 (豊高・18時以降)
または、c-k@love-dugong.net
 - ◇主催：放課後クラブ「チャレンジ・キッズ」

心理カウンセラー養成講座 ～講座体験・講座説明会～

- 対人関係など心理学を中心とした心の動きを学習します。
- ◇日時
10月17日(金) 10:30～12:00
10月17日(金) 19:15～20:45
10月24日(金) 10:30～12:00
10月24日(金) 19:15～20:45
 - ◇場所：ラポールひらかた 研修室1
 - ◇参加費：無料 ◇定員：各15名 ◇対象：18歳以上
 - ◇申込・問合せ：NPO法人京阪総合カウンセリング
TEL 072-814-7140
メール:jimu@npo-ksc.net http://www.npo-ksc.net

【枚方自閉症児(者)親の会】

- 《講演会》「配慮を必要とされる方とご家族の防災について」
- ◆日時：10月11日(土) 13:30～15:00 (開場13:15)
 - ◆場所：ラポールひらかた 3階研修室1
 - ◆講師：吉田琴美氏 (Cherish～スペシャルニーズのある人と家族の暮らしを支える会 代表)
 - ◆参加無料 (定員50名 当日先着順)
- 災害はいつ発生するかわかりません。災害時に集団での避難性生活に不安を感じておられるご家族もいらっしゃるのではないのでしょうか。高齢者や障がい者など支援が必要な人々の防災対策をお話し頂きます。
- 《定例会》
- ◆日時：11月17日(月) 10:00～12:00
 - ◆場所：ラポールひらかた 4階共用ルーム
 - ※連絡先 春名 072-397-0053 団 072-868-7359

応援よろしくお願ひします♪

LIP 応援団

LIP 会計報告 (前号以降)

金額(円)	内容
20,623	前号から繰り越し
6	銀行利息
▼3,872	10月号用紙
▼500	ロッカー代
▼1,240	9月号印刷代
15,014	計 (次号へ繰り越し)

STOP WAR NOW LOVE & PEACE

◆今年の水都くらわんか花火大会も素晴らしかったですね。ドローンショー、はじめて間近から生で見てご近所さんみんなと拍手して感激していました。ドローンはこういう使い方をしてほしいと改めて強く思いました。(w)

◆巨大しゃぼん玉用の液の作り方・道具の作り方・遊び方をすべて教えます、という講座を行いました。4名の参加者があり、無事、楽しく講座ができました。思ってたよりうまく行ったので、今後も講座を企画して、枚方をしゃぼん玉だらけの街にしていく予定♪ (w)

◆LIPは市民が書き、市民が読む地域密着型情報紙です。あなたも紙面に登場してみませんか？

「子どもおとなも笑顔になる学校に！ ～いま 学校の何が問題なのか～」

- 日時 11月9日(日) 午後2時～4時
 - 会場 青年の家2階 研修室201号室
(京阪交野線「交野駅」より徒歩4分)
 - 講師 久保敬さん (元大阪市立小学校校長)
 - 主催者 憲法とくらしを考える会
 - 連絡先 072-892-4938 (枚村)
 - 参加費 500円
- 2021年に大阪市長に提言書を出された久保敬さんをお迎えして、本来学校はどうあるべきか、お話しいただきます。また、交野唯一の府立高校である交野高校の今後についても報告します。

イラスト 表紙：平井由恵



新しいジブン、見つけてみいへん？
枚方で仕事を探すなら！

ひらこー求人

ほぼ枚方市内と近くの求人だけ集めた
枚方つーしんの求人情報ページ

ひらこー 求人 🔍

WEBからアクセス ➡

